

2009.12.29 (火) 曇りのち晴れ 鈴鹿・雨乞岳 山と野木鳥の会 2



桜地蔵から5分位に避難小屋ができた

836.駐車場 924 桜地蔵 956-959 蓮如上
人旧跡 1117-1125 杉峠 1220-1251 山
頂・昼食 1326 杉峠 1411-1416 蓮如上
人旧跡 1518 駐車場



蓮如上人旧跡



シデの並木道



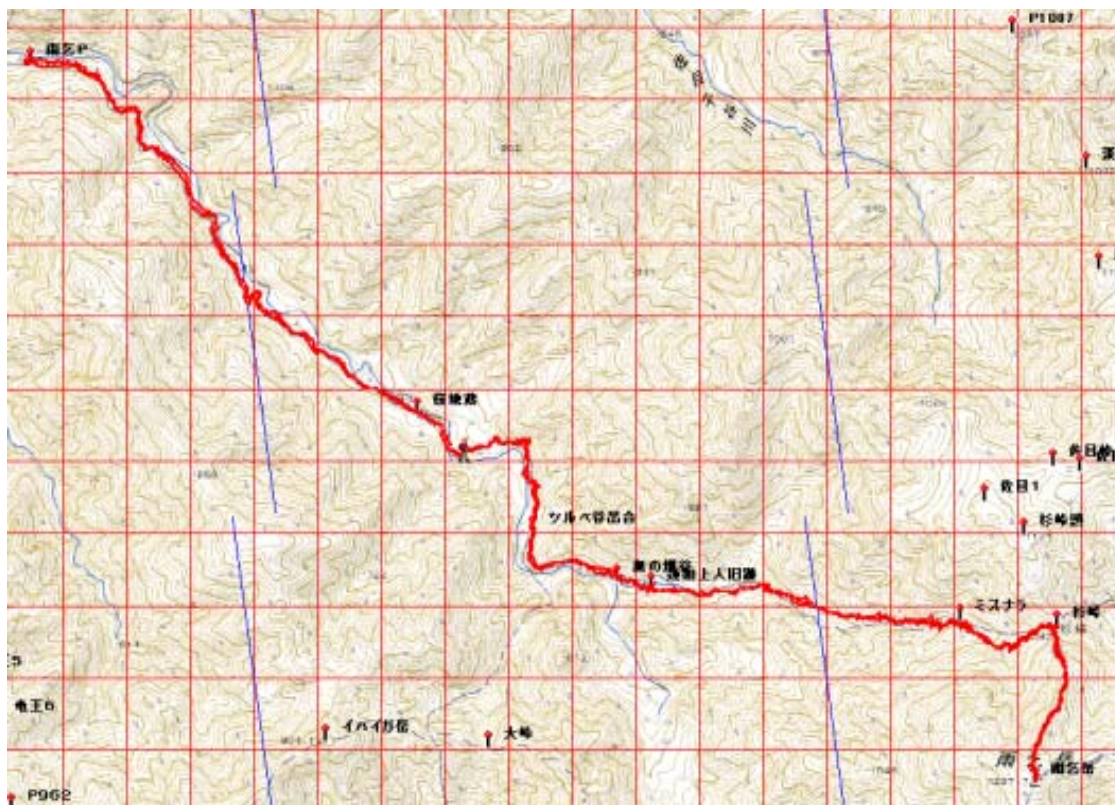
一反ぼうそう (ミズナラの巨木)



山頂

杉峠からイブネか雨乞岳にと思って出発したが、相方が雨乞は初めてということと、わたしも杉峠からは行ったことがなかったので、雨乞を目標とした。
車からみると全山、雪の薄化粧であったことから、杉峠や雨乞の樹氷を大いに期待する。樹氷の目立つ杉峠あたりから青空も見え出した。最高のコンディションだ。先に出発の他パーティはイブネのようであり、雨乞への踏み跡はない。峠から山頂への道は結構厳しい。最初は幾分凍結気味の急坂、急坂が終わってしばらくはルンルンだが、次は融けつつある

雪をかぶった背の高い笹のブッシュ（道が笹で覆われている）を通らなければならない。ようやく山頂だ。ほとんど360度の眺望だ。昼食をとって、アイゼンを着用し、来た道を素直に引き返す。樹氷も落ちつつあり、また、登山道の雪も融けつつあった。雨乞の急坂を登っているとき、西尾根から登ってきた山友のふたりとすれ違う。なぜか、結構山で出会うメンバーだ。きょうのすばらしい樹氷を互いに祝った。西尾根ルートは未体験ルートであり、行ってみたいルートのひとつだ。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

[トップページ\(2009\)に戻る](#)